

# 自動運転実証実験を含む新たなモビリティサービス実証実験



春日井市、名古屋大学、厚生労働省東海北陸厚生局は、3者の連携により、高蔵寺ニュータウンにおける高齢者など交通弱者を主な対象者として、モビリティ（移動性）の向上を目指した新たなサービスの実証実験を展開し、ニュータウン型の MaaS（Mobility as a Service（移動のサービス化））を構築し、先進技術による快適なまち「高蔵寺ニューモビリティタウン」を目指す。

## 実証実験概要

平成31年1月～2月の約2か月間、従来の路線バスやタクシーに加えて、高蔵寺ニュータウンをフィールドとした相乗りタクシー、ボランティア輸送、自動運転等を活用したモビリティサービスの実証実験を実施する。実証期間中は、グループふじとう内に配車オペレーターを配置し、実験や乗車方法の問い合わせ等にも対応する。

## 相乗りタクシー実証実験

高蔵寺ニュータウン内を発着条件とし、相乗りタクシーの実証実験を実施する。名大が開発する予約アプリにより、最大2組のマッチングを行い、乗車距離に応じてデポジット（事前にチャージ）により決済する。市内タクシー組合と連携し、10台/日程度、専用端末を搭載した車両を手配する予定。

## ボランティア輸送実証実験

ニュータウン内居住者の有志をボランティアドライバーとして募集し、利用者の自宅から1.2kmを上限に、住民共助の精神でガソリン代相当の実費にて輸送する。利用者とドライバーのマッチングは、相乗りタクシーと同一の予約アプリを使用し、距離に応じたデポジットにより決済する。

## ラストマイル自動運転実証実験

実証実験期間の最終フェーズに、ボランティア輸送の代替をイメージした自動運転の実証実験を実施する。予約アプリによる自動運転車両の呼び出しなどを想定。

## モニター調査

ニュータウン内の居住者 1000名程度を選出（うち 200名は高齢者）し、相乗りタクシーやボランティア輸送のサービスを利用していただく。高齢者モニターには、実証の前後で調査することで外出頻度・健康状態・幸福度などの変化を把握する。

## 実証実験等スケジュール

実証実験等スケジュール	2018年度					2019年度		2020年度		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	上半期	下半期	上半期	下半期
地域実装協議会 （先導的モビリティ検討会議）	★ 第1回 記者会見				ラストマイル自動運転 実証実験	★ 第2回	★ 第1回	★ 第2回	★ 第1回	★ 第2回
モビリティサービス実証実験等				相乗りタクシー、 ボランティア輸送実証	一般モニター調査		事業ランニング 検証	一部サービス 社会実装		
			高齢者モニター調査							

